

Q-2 SSH事業を通して、生徒たちはどう成長するの？

国分寺高校としては、“知・情・意”を兼ね備えた人間の育成”が教育目標となっていますが、SSH 事業の中ではどのような力をもった生徒達を育みたいのか。他の SSH 校では、独自に資質・能力を定義し、その育成を目指した取組を行なっています。本校でも同様に、“科学的な思考力”の育成を SSH 事業を通して目指していますが、少し抽象的な表現となっています。そこで、より具体的に各種活動に落とし込むことができるように、「**国分寺コンピテンシー（BUN-petency；ブンピテンシー）**」を定義することにしました。

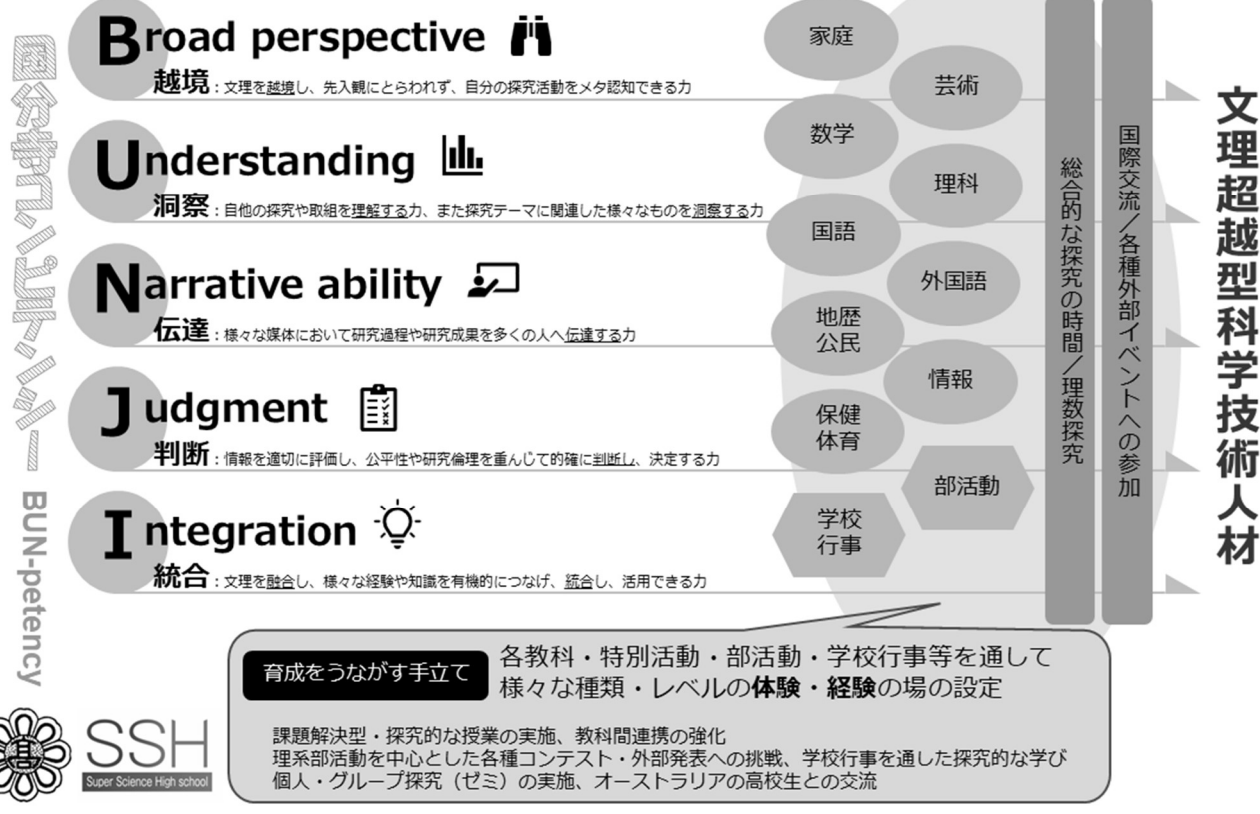
BUN-petency は、大きく5つの力によって構成されています。

1. **B**road perspective【越境】文理を越境し、先入観にとらわれず、自分の探究活動をメタ認知できる力
2. **U**nderstanding【洞察】自他の探究や取組を理解する力、また探究テーマに関連した様々なものを洞察する力
3. **N**arrative ability【伝達】様々な媒体において研究過程や研究成果を多くの人へ伝達する力
4. **J**udgment【判断】情報を適切に評価し、公平性や研究倫理を重んじて的確に判断し、決定する力
5. **I**ntegration【統合】文理を融合し、様々な経験や知識を有機的につなげ、統合し、活用できる力

これらは探究活動で必要な力であり、探究活動を通して育まれる力でもあります。ですが、探究活動のみによって育まれるわけではなく、各教科の授業や学校行事・部活動等、学校生活のありとあらゆる体験・経験を通して育まれる力でもあります。その意味で、本校の SSH 事業は一部の生徒達だけを対象とした取組ではなく、全校体制で BUN-petency を育む取組である点が、特色の一つになります。

研究開発課題

文理を融合し、
科学的な関心と思考力を高める課題解決型学習の開発に関する実践的研究



次号では、この BUN-petency と各教科の授業や学校行事・部活動などをつなげる“学びのアクション”についてお伝えします！